



平成 29 年 4 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 田 谷
代表者名 代表取締役社長 保科 匡邦
(コード番号 4679 東証第一部)
問合せ先 執行役員経営企画部長 中村 隆昌
(TEL. 03 - 5772 - 8411)

特別損失の計上、通期業績予想の修正および配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 4 月 24 日開催の取締役会において、下記のとおり特別損失の計上を行うとともに、平成 28 年 12 月 22 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期の通期業績予想および未定としておりました平成 29 年 3 月期通期の配当予想について下記のとおり修正を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当事業年度において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、当社の営業する美容室のうち 8 店舗の店舗資産について、減損損失 107 百万円を特別損失に計上いたします。

2. 通期業績予想の修正について

(1)平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）通期業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	11,644	18	△53	△98	△19.61 円
今回修正予想 (B)	11,401	28	△31	△177	△35.61 円
増減額 (B-A)	△242	10	21	△79	
増減率 (%)	△2.1	57.1	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	11,843	△231	△228	△182	△36.45 円

(2)修正の理由

個人消費は節約志向が依然として続き、労働需給逼迫による美容師確保難もあり美容業界は厳しい状況となっております。当社といたしましては『お客様が毎日どこでも綺麗でいていただける』ために、新しいメニューの導入や接客サービスの向上に努めてまいりました。

これにより、通期で客単価は増加（既存店前期比+4.4%）いたしました。天候不順の影響や来店周期の伸び等で入客数が低調に推移（既存店前期比△5.5%）し、売上高が前回予想を下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、不採算店舗の閉鎖に伴う労務費や地代家賃の低減、さらに美容材料使用量の厳正化など無駄なコスト削減に努め、営業利益及び経常利益は前回予想を上回る見通しとなりましたが、固定資産の減損損失を特別損失に計上することとしたため、当期純利益は前回予想を下回る見通しとなりました。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。

(3) その他

平成29年3月期決算発表（非連結）は平成29年4月27日（木）を予定しております。

3. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回予想 (平成28年4月27日公表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成28年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(2) 修正の理由

当社は、業容の拡充に努めるとともに、株主の皆様に対し安定的な配当を継続して実施しつつ、業績に応じた還元を行うことを基本方針としております。

しかしながら、平成29年3月期通期の業績予想を総合的に勘案いたしました結果、期末の配当予想を無配とさせていただきます。

なお、株主優待制度につきましては、変更はございません。

以 上